



# 真野川

稲井中3つの「あ」

あいさつ

あきらめない

あいてのために

【第34号】

発行日  
平成27年11月20日

稲井中電話番号  
0225-91-2314  
FAX 91-2315

## Make A New Legend

# 文化祭を振り返って

オープニング・セレモニー 「新たな伝説を創れ」

1学年発表 Newソーラン 「INAI SIDE STORY」

国語弁論 「始めるための努力」 2年 吉野布美花



文化祭実行委員長のあいさつ

3年 三浦瑠南さん



生徒会長のあいさつ

3年 若生智香さん



これまでの準備の様子から、今日の合唱コンクール、そして文化祭が、みなさんの熱い思いにより、新たな伝説となることを確信しています！

～開会にあたって、漢人真二校長先生のお話から～

三浦 瑠南：自分たちの力で準備し、あらたな伝説をつくるために頑張ってきました。会場のみなさま、今日一日を楽しんでいただきたいと思います。

若生 智香：みんなの手で準備し、練習してきた成果を出しましょう。みんなで盛り上げ、素晴らしい文化祭にしましょう。



1学年発表 Newソーラン

## INAI SIDE STORY

秋田芸術体験活動で学習してきた踊り「New ソーラン」を映画「ウェスト・サイド・ストーリー」をモチーフに、短い劇にして発表しました。



## 国語弁論発表 「始めるための努力」 2年 吉野布美花

- ◆校内弁論大会最優秀賞
- ◆石巻地区弁論大会優良賞



「努力は必ず報われる。」皆さんは、この言葉を信じますか。私は信じていません。

私は、保育所の頃から約9年間ピアノを習っていました。ピアノのコンクールで賞を取るために、多い時には夜の8時から11時まで、約3時間練習をしました。

しかし、賞を取ることはできませんでした。その度に、「練習しても上手く弾けない。もうやめたい。」と何度も何度も思いました。そして幼いながら私は、「一生懸命頑張ったのに、努力したのに、無駄なんだ。」と、思った記憶が今でもあります。

その時から心の中のどこかでずっと、「努力しても報われない」と思ってしまうようになりました。

母は私の落ち込む様子を見て「負けたくないなら、努力しなさい。」いつも励ましてくれたので、「母が応援してくれるから。賞状がほしいから。」という思いだけで当時はただただ頑張るだけでした。

私は、中学校に入りピアノをやめ、ソフトボールを始めました。経験こそありませんでしたが、小学生の頃から兄が野球をしている姿を見ていたので「私にも簡単にできる」と甘い考えで臨みました。

実際にやってみると、ボールの大きさや独特な投げ方にとっても戸惑いました。また、練習試合でチャンスをもたらしても打てず、チャンスを逃し、悔しい思いをたくさんしました。何人もの同じ2年生にレギュラーをとられ、大会があってもベンチで応援をする日々でした。

これまで、「先輩方や同級生と一緒に試合に出て勝ちたい」という目

標のために頑張ってきました。それなのに結果が出ない。自分はどのように努力するのだろうと、ふと思いました。

そんなことを考えながら部活をしていたある日、先輩から「布美花と部活がもっとしたい。一緒に県大会を目指して頑張ろう」と声をかけられ、私は気づきました。これまでの努力はすべて「自分のため」だけであつたこと。これからは、「チームのために努力をしていかなければならない」ことを。

私は、たとえ夢や目標が実現する可能性が1パーセントであったとしても、報われなくても、実現する可能性があると思っています。

以前、私は「努力の壺」という話を聞いたことがあります。人はそれぞれ努力の壺を持っていて、その大きさや形は人によって異なります。そして、壺の中に一生懸命「努力」をため、溢れたときに努力が実るのです。壺の大きさは人によって違うので、小さくてすぐに溢れてしまう人もいれば、大きくていくら頑張ってもなかなか溢れない人もいます。

もし、私にも壺があるならば、その壺はきっと大きいでしょう。なぜなら、いま努力をしている「新チームでチームのために活躍し、県大会で勝つ」という目標が実現していないから。

努力は必ず報われるとは限りません。しかし、結果を出すためには、人よりも前に進むための行動をしなければならないと思います。だから私は、壺に一滴一滴大切に「努力」をためていきたいと思っています。

皆さんも、自分の夢や目標を実現させるために「一歩踏み出す、始めるための努力」をしてみませんか。

